

事業番号	05 07 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	心の健康支援推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課		
		実施期間	S47 ~	E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	⑦健康寿命						
総合的に展開する重点政策	4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援	4-3 医療・介護提供体制の充実		4-4 生命・生活リスクの軽減			
	5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり						

1 現状と課題

【現状】	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者の入院・通院患者数は、令和5年3月末現在で49,837人と増加傾向にある。 自殺者数は令和3年は325人と、1日におよそ1名が自殺で亡くなっている（人口動態統計）。 アルコール使用による精神及び行動の障害による入院・通院患者数は、令和5年3月末現在で903人と、増加傾向にある。 		
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> 長引くコロナの影響や世界情勢からの物価高騰の影響等により、自殺者が増加した。 未成年者の自殺死亡率は全国の中でも高水準である。 		

2 事業目的

<ul style="list-style-type: none"> 精神障がい者の状態に応じて必要な医療を提供し、保健・福祉等と連携して地域生活や社会生活を支える体制の構築を目指す。 依存症患者が地域で必要な医療を受けられるよう、依存症医療提供体制の構築を目指す。 長野県の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）を13.6以下とし、誰も自殺に追い込まれることのない信州を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

<p>①精神科救急の体制整備</p> <p>4圏域（東北中南信）ごとに輪番病院を指定し、常時対応型施設の県立こころの医療センター駒ヶ根・千曲荘病院・村井病院とあわせた医療提供体制により、精神科救急に対応</p> <p>②人材の育成及びネットワークの強化</p> <p>信州大学医学部「子どものこころ発達医学教室」にて、長野県発達障がい専門医及び診療医を育成するとともに、圏域ごとに発達障がい診療地域連絡会を組織し、医療関係者及び支援者によるネットワークを強化</p> <p>③精神保健福祉センターにおける支援</p> <p>精神保健福祉センターにおいて、依存症相談・対策コーディネーターによる依存症相談、思春期相談員による思春期相談を実施するとともに、専用電話回線で精神保健福祉相談を実施</p>

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	アルコール健康障害専門医療機関数	箇所	1	2	↗	2	→	3	未達成	アルコール依存症患者が県内で適切な医療を受けられるようになるため	
②	発達障がい診療地域連絡会（支援関係者研修会）の開催圏域数	圏域	4	10	→	10	→	10	達成	発達障がい者を地域で重層的に支える保健・医療・福祉関係者によるネットワークを構築するため	
③	災害派遣精神医療チーム（DPAT）登録医療機関数	医療機関	5	6	↗	6	→	5	達成	大規模自然災害時等における精神保健医療ニーズ（精神科医療の提供や心のケア活動の支援など）に対応するため	
④	自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）	人	17.5	16.3	↗	17.3	↘	13.6	未達成	誰も自殺に追い込まれることのない信州を実現するため（R4は速報値。確定値は9月頃公表予定）	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R4年度	0	3,187,530	63,079	3,250,609	1,628,242	3,065,468	74.0
R3年度	0	3,181,678	164,508	3,346,186	1,679,804	3,098,375	74.0
R2年度	0	3,201,114	42,662	3,243,776	1,615,293	3,094,507	73.0

事業番号	05 07 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	心の健康支援推進事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

6 主な取組実績と成果

精神科救急の体制整備

令和4年7月25日付けで長野県精神科救急医療整備事業実施要綱を改正するとともに、8月1日から千曲荘病院（東信地区）及び村井病院（中信地区）を常時対応型施設として指定し、精神科救急医療に係る診療応需体制を整備した。

人材の育成及びネットワークの強化

信州大学医学部「子どものこころ発達医学教室」にて発達障がい専門的に診療できる医師の養成を行っており、令和4年度は新たに長野県発達障がい専門医2名、診療医1名を認定した。また、診療ネットワーク構築を図るため、圏域ごとに発達障がい診療地域連絡会を開催。10圏域で延12回開催し、医療関係者及び支援者によるネットワークが強化された。学習障害をテーマに取り上げた圏域では、例年より教育関係者の参加が多く、参加者から「教育現場との顔の見える関係づくりが進んできている」と好意的な反応があった。

精神保健福祉センターにおける支援

精神保健福祉センターにおいて、依存症相談・対策コーディネーターによる依存症相談、思春期相談員による思春期相談を実施するとともに、専用電話回線での精神保健福祉相談は2,615件実施。



7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	アルコール健康障害専門医療機関数	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	未達成
専門医療機関の選定を希望する医療機関が、国が定める選定要件を全て満たしていなかったため、令和4年度中の選定に至らなかった。							
指標②	発達障がい診療地域連絡会（支援関係者研修会）の開催圏域数	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関及び保健福祉事務所が対応に追われていたが、地域連絡会をオンライン開催にするなど圏域ごとに開催方法を工夫し、全圏域で開催することができた。							
指標③	災害派遣精神医療チーム（DPAT）登録医療機関数	R3年度推移	↗	R4年度推移	→	達成状況	達成
令和3年度に登録医療機関数が6となり、令和4年度も登録は継続している。							
指標④	自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
著名人の相次ぐ自殺報道、長引くコロナ及び世界情勢等からの物価高騰などの影響によるものと考えられる。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・未成年者の自殺死亡率が全国の中でも高水準である。
- ・自殺のリスクが高いと言われている自殺未遂者に対する支援が不足している。
- ・発達障がいを診療できる医師の不足などから地域偏在や初診待ちの長期化等が生じている。
特に、木曽圏域及び北信圏域は発達障がいを専門的に診療する常勤の医師がいない状況である。
- ・精神障がい者が地域で安心して暮らせる体制づくりが必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・子どもの自殺危機対応チームの体制を強化し、困難ケースへの支援を行うことに加え、若者の意見を聴くワークショップや生きる力を促進するための講演会などを実施する。
- ・自殺未遂者支援のためのネットワークを構築する。
- ・信州大学の医師の養成カリキュラムを周知し、受講者数の増加を図る。
信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部の職員を医師が不足している圏域に派遣することで、診療の地域格差の解消を図る。
- ・依存症専門医療機関の選定要件である「専門プログラムの実施」「所定の研修を修了した職員の配置」等を充足した医療機関について、順次選定を進めていく。
- ・正しい知識の普及啓発、医療体制整備、包括的な支援体制の構築を推進する。また、地域における課題を確認し、関係機関との連携を深めていく。

事業名	心の健康支援推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課
-----	-------------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	精神障がい者地域生活支援事業		2,100 千円	1,445 千円	860 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会議	直接	各二次医療圏域の地域生活支援コーディネーターと保健所保健師等で構成される精神障がい者の地域移行を促進するための連絡会の開催 開催回数 2回		
2	精神障がい者地域生活支援関係者研修	直接	地域移行に関する体制強化のための関係者研修会の開催 開催回数 12回		
3	障がい者支え合い活動支援事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいへの理解促進を図るため、当事者支援員及び家族支援員による地域住民等への啓発活動 入院中又は退院後間もない精神障がい者に対する当事者支援員による訪問支援 開催回数（当事者）相談事業：8回、普及啓発：23回（家族）講演会：2回		
4	精神障がい者地域ケア推進事業	直接	精神障がい者への理解促進を図るための、地域住民・民生児童委員・自治会役員を対象とした研修会等の開催 開催回数 7回		
5	若者向け心のバリアフリー事業	委託	精神障がいに対する偏見を見直し、自らの心の健康を考える機会とするため、精神疾患のある当事者を講師として高校に派遣 派遣高校数 2校		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	精神医療対策事業		2,925,746 千円	2,931,108 千円	2,905,709 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	精神医療審査会	直接	精神保健福祉法第12条の規定に基づく定期病状報告や、退院請求・処遇改善請求等の審査の実施 開催回数 20回		
2	精神医療対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉法や障害者自立支援法等の規定に基づく、措置入院患者や精神通院患者に対する医療の確保及び精神障がい者の医療に対する必要な援助（自己負担相当額の公費負担等）の実施 自立支援医療（精神通院医療）受給認定者数 46,155人		
3	地方精神保健福祉審議会	直接	精神保健福祉法第9条の規定に基づく、医療・福祉・司法等の専門領域の委員による県の精神保健福祉行政について審議する会議の開催 開催回数 1回		
4	災害派遣精神医療チーム体制整備事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> DPAT運営会議の開催 DPAT研修会の実施 DPAT活動のための損害賠償責任保険への加入 運営会議の開催回数 1回（書面開催）、研修会の開催回数 1回		
5	てんかん医療提供体制整備事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> てんかんの専門的な相談支援及び地域の相談・治療体制のネットワークの整備 てんかん治療医療連携協議会開催回数 1回		

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	精神科救急医療整備事業	91,141 千円	93,159 千円	91,917 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	精神科救急医療確保事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> 各精神医療圏域（県内4ブロック）における医療提供体制の構築 委託先：県立こころの医療センター駒ヶ根以下19か所	
2	精神障がい者 在宅アセスメントセンター事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患に係る緊急入院の要否判定、支援制度の紹介、支援機関への取り次ぎ等を実施する通年夜間対応の相談窓口の整備 委託先：県立こころの医療センター駒ヶ根、千曲荘病院及び村井病院	
3	長期連休時の 精神保健指定医待機事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関休診日が連続する期間（GWや年末年始等）における、措置入院に係る診察を実施する精神保健指定医の待機依頼 8保健所で実施	
4	精神障がい者移送体制に 係る搬送委託業務	委託	<ul style="list-style-type: none"> 措置入院に係る通報等の受理保健所が行う当該被通報者等搬送の一部を民間事業者に委託（長野圏域） 2者と契約	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	自殺対策推進事業	39,403 千円	35,299 千円	36,016 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	相談事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 弁護士や保健師による相談会（くらしと健康の相談会）の開催 相談件数 84件	
2	人材育成	直接	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー研修会、人材養成研修会の開催【主催：各保健福祉事務所】 開催回数 8回、研修動画公開 1回	
3	普及啓発	直接	<ul style="list-style-type: none"> 街頭啓発の実施及び相談窓口周知に係るリーフレットの作成・配布 啓発グッズ配布数 20,000部、リーフレット配布部数 18,000部	
4	子ども・若者対策	直接	<ul style="list-style-type: none"> 「子どもの自殺対策プロジェクトチーム」会議の開催 開催回数 1回	
5	市町村等支援	補助金	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策事業を実施する市町村、民間団体への補助 補助件数 67件	
6	長野県地域自殺対策 推進センター事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策に携わる関係者への研修会の実施、自死遺族交流会の開催等 全国共通の電話番号による自殺に関する電話相談を実施 研修会開催回数 4件	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	精神保健福祉センター事業	16,315 千円	16,936 千円	10,147 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	精神保健相談	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症相談・対策コーディネーターによる依存症相談 ・思春期相談員による思春期相談 ・専用電話回線による精神保健福祉相談 面接相談件数 819件 電話相談件数 8,818件	
2	精神保健福祉研修会等	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉業務に従事する職員等を対象とした専門的研修の開催 ・県民への講演会及び家族教室等の開催 研修会開催回数 40件	
3	センター運営費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉法第6条の規定に基づく、精神保健福祉の向上及び精神障がい者の福祉の増進を図る専門機関の運営 職員構成：医師（所長）：1人、事務：3人、保健師：3人、施設：1人、社会福祉：4人（うち精神保健福祉士：3人）心理：6人	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
6	発達障がい診療体制整備事業	19,802 千円	20,044 千円	20,183 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	発達障がい診療地域ネットワーク整備事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・診療ネットワーク強化のための発達障がい診療地域連絡会の開催（各二次医療圏域） ・コメディカルの育成等を図るため、各二次医療圏域の支援者会議へのスーパーバイザー（医師）の派遣 連絡会開催回数 12回開催、派遣回数 18回	
2	発達障がい診療人材育成事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学医学部「子どものこころ発達医学教室」における専門医・診療医の育成 長野県発達障がい診療医1名、専門医2名を新たに指定（累計53名）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
7	依存症対策事業	0 千円	384 千円	636 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	アルコール健康障害対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・県アルコール健康障害対策推進計画の進捗管理等を行う、アルコール健康障害対策推進会議の開催 ・かかりつけ医向けのアルコール健康障害対応研修の開催 会議開催回数 1回、研修会開催回数 1回	
2	受診後の患者支援に係るモデル事業	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症患者が継続的な支援を受けるため、医療機関と民間支援団体とが連携した患者支援に係るモデル事業の実施 近隣自助グループへの入院患者の参加 全27回	
3	依存症に関する問題に取り組む民間団体支援事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール関連問題・薬物依存症に関する問題・ギャンブル等依存症に関する問題に取り組む民間支援団体の支援 補助事業者数3者、計300千円	